未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現 ~世界の中の日本、静岡を認識し、活躍できる人材の輩出に向けて

Realization of education that nurtures diverse human resources that will impact the future \sim Towards producing individuals who can play an active role in Shizuoka or Japan as a part of the globalized world \sim

(1) グローバル人材の育成

小学校での英語教科化や大学入試改革を見据 えて英語教育の充実を図り、多様性を理解し、国 内外で活躍する人材を育成するとともに、日本語指 導が必要な児童生徒に対して、キャリア形成までを 視野に入れた支援を進めます。

(2) イノベーションを牽引する人材の育成

児童生徒が科学技術をはじめ様々な場面で新た な価値を創造できる力を備え、多様な個性や才能

を生かして挑戦できる環境づくりを目指します。

社会総がかりで取り組む教育の実現 ~地域全体で、様々な状況の子供たちに対するきめ細かな支援の充実に向け

Realization of education where every member of society is fully involved · Towards the enhancement of full support by the whole community for children in different situations of

1) 地域ぐるみの教育の推進

学校、家庭、地域、企業等の連携・協働による 社会総がかりの教育を進めます。

(2) 誰もが夢と希望を持ち社会の担い手となる教育の推進

インターネットやSNSの普及等にも対応し、児 童生徒が心身ともに健康で安心して教育を受けら れる体制を整備します。

しずおか型英語教育の充実(再掲)

外国人児童生徒等への日本語指導・

○高大連携による研究体験等の推進

○専門的知識・技能を有する外部人材の活用

○国際的な大会、各種コンクール等への参加支援

○ふじのくにグローバル人材育成基金による海

外留学、海外インターンシップ、教職員海外

海外交流の促進

研修等の充実

○海外教育旅行の促進

キャリア形成の支援拡充

地域・社会の学校運営への参加促進

○コミュニティ・スクール導入に向けた支援拡充 ○地域学校協働本部の設置促進

主な取組

「しずおか寺子屋」など地域の人材を活用した学習支援の推進 地域・社会に貢献する人材の育成

○企業や大学と連携したキャリア教育の推進(再掲) ○地域学の推進による郷土愛の醸成(再掲)

いじめ・不登校等に対する相談支援体制の充実

○SNSを用いたいじめ等相談体制の構築 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用

ネット依存対応

○ネット依存傾向の青少年を対象とした自然 体験・宿泊体験プログラムの試行・検証

教育委員会の機構

	教育長	Superintendent
	2011224	<u> </u>
	教育部長	Director
	教育監	School Education Director
	理事(総括担当)	Director for Policy Coordination

	-T - (401010)	a) Birodor for rolley ocordination
	事務局	
	教育総務課	Education General Affairs Division
	教育政策課	Education Policy Division
	財務課	Financial Affairs Division
	福利課	Welfare Division
	義務教育課	Compulsory Education Division
	高校教育課	Senior High School Education Division
	特別支援教育課	Special Needs Education Division
	健康体育課	Health and Physical Education Division
	社会教育課	Social Education Division
	静東教育事務所	Seito Local Education Office (Eastern Region)

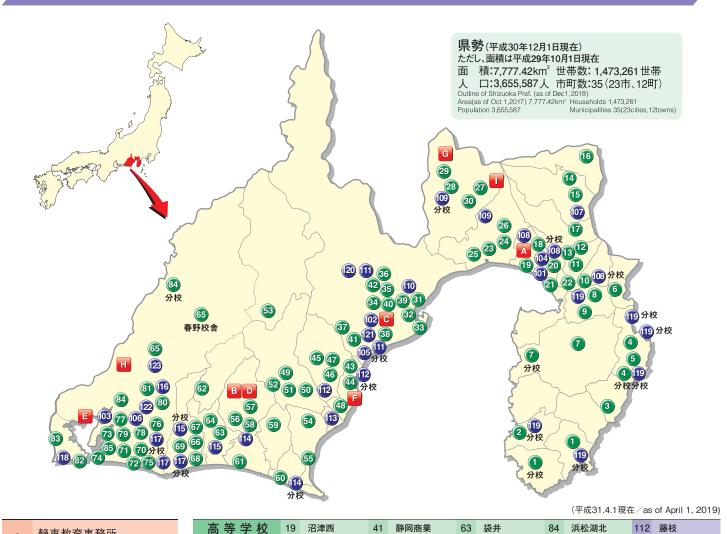
静西教育事務所 Seisei Local Education Office (Western Region

Organization of the Prefectural Board of Education

委員会				
教育長木苗直秀	委 員 渡邊靖乃	秦 井 明	委 阿藤百合子	委伊東幸

教育機関	
中央図書館	Prefectural Central Library
総合教育センター	Comprehensive Education Center
焼津青少年の家	Yaizu Youth & Children's Center
観音山少年自然の家	Kannon yama Children's Nature Center
- 富士山麓山の村	Mt. Fuji Students' Seminar Center
県立学校	Prefectural Schools

県立教育施設の配置



	Seitou Local Education Office	1	下田	20	沼津城北	42	静岡中央	64	袋井商業		″ 佐久間分校		″ 焼津分校
	静西教育事務所		〃 南伊豆分校	21	沼津工業	43	焼津中央	65	天竜	85	浜松大平台	113	吉田
Seisei Local Education Office		2	松崎	22	沼津商業	44	焼津水産		″ 春野校舎	ᅧ	中 学 校	114	掛川
	県立中央図書館	3	稲取	23	吉原	45	藤枝東	66	磐田南	33	清水南中等部		″ 御前崎分校
	Prefectural Central Library	4	伊東	24	吉原工業	46	藤枝西	67	磐田北	71	浜松西中等部	115	袋井
	県総合教育センター		〃 城ヶ崎分校	25	富士	47	藤枝北	68	磐田農業	特	別支援学校		〃 磐田見付分核
	Comprehensive Education Center	5	伊東商業	26	富士東	48	清流館	69	磐田西	101	沼津視覚	116	浜北
	県立三ケ日青年の家	6	熱海	27	富士宮東	49	島田	70	浜松北	102	静岡視覚	117	浜松
	Mikkabi Youth Center	7	伊豆総合	28	富士宮北	50	島田工業	71	浜松西	103	浜松視覚		〃 磐田分校
	県立焼津青少年の家		″ 土肥分校	29	富士宮西	51	島田商業	72	浜松南	104	沼津聴覚		″ 城北分校
	Yaizu Youth & Children's Center	8	韮山	30	富岳館	52	金谷	73	浜松湖東	105	静岡聴覚	118	浜名
	県立朝霧野外活動センター	9	伊豆中央	31	清水東	53	川根	74	浜松湖南	106	浜松聴覚	119	東部
	Asagiri Field Activity Center	10	田方農業	32	清水西	54	榛原	75	浜松江之島	107	御殿場		″ 伊東分校
	県立観音山少年自然の家	11	三島南	33	清水南	55	相良	76	浜松東	108	沼津		″ 伊豆高原分核
	Kannonyama Children's Nature Center	12	三島北	34	静岡	56	掛川東	77	浜松工業		″ 伊豆田方分校		″ 伊豆下田分核
	県立富士山麓山の村	13	三島長陵	35	静岡城北	57	掛川西	78	浜松城北工		″ 愛鷹分校		″ 伊豆松崎分核
	Mt. Fuji Students' Seminar Center	14	御殿場	36	静岡東	58	掛川工業	79	浜松商業	109	富士		〃 川奈分校
		15	御殿場南	37	静岡西	59	小笠	80	浜名		″ 富士宮分校	120	中央

●お問い合わせは

静東教育事務所

静岡県教育委員会 教育政策課 Education Policy Division, Shizuoka Prefectural Board of Education

18 沼津東

TEL.054-221-3134 ◎教育委員会ホームページ https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 9-6 Ote-machi, Aoi-ku, Shizuoka-shi, Shizuoka 420-8601, Japan

40 科学技術 62 遠江総合 83 湖西



11 静岡北

121 静岡南部

122 西部

″ 南の丘分校 123 天竜

静岡県の

Education in **Shizuoka Prefecture**

基本目標

Basic Goals

「有徳の人」の育成 Fostering "Virtuous People"

- 「有徳の人」とは-

"Virtuous people" are those who:

- ① 自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人 Are independent and strive to develop their own unique qualities and abilities
- 多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にする人 Cherish relationships with others, and respect their lifestyles and values
- ③ 社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人 Work as a member of society to make it better



文・武・芸 三道の鼎立

人の知性・感性・身体能力を万遍なく伸ばすことを意味します

平成31年度(2019年度) 教育行政の基本方針

2019

Basic Policies of Education Administration 20

静岡県教育委員会は、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「『有 徳の人』の育成」を目指しています。そのためには、子供たち一人一人の能力、適性、意欲、成長に応じて、それぞれが持つ 資質を十分に伸ばしていく教育を社会全体で進めていくことが必要です。

本年度は、さらに、急激な技術革新やグローバル化等により将来予測が困難な時代を生き抜くに当たって必要な「生きる カ | を育むため、以下の取組を重点的に推進します。

The Shizuoka Prefectural Board of Education aims to cultivate "virtuous people" who live as independent individuals, value relationships with others, and act for the betterment of society. For that purpose, it is necessary for society as a whole to promote education to fully develop the qualities of each child according to their abilities, aptitude, motivation, and growth.

This year, moreover, in order to foster the skills necessary to survive in this age where predicting the future is difficult due to factors such as rapid technological innovation and globalization, we will focus on the following initiatives

「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現 ~ 「静岡県ならでは」の魅力あふれる学校づくりに向けて

Realization of education aimed at balanced improvements of three areas: "Academics, Sports, and Cultures" \sim Toward the creation of schools that are appealing and "unique to Shizuoka Prefecture" \sim

1)「知性を高める学習」の充実

新学習指導要領に明記された、論理的思考力を 身に付けるための学習活動である「プログラミン グ教育」を推進し、基礎的な知識・技能や思考 力・判断力・表現力等を身に付け、主体的に学習 に取り組む「確かな学力」の向上を図ります。



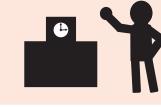
(2) 「技芸を磨く実学」の奨励

様々な分野において自らの才能を伸ばす実践 的な学問としての「実学」を推進するととも に、大規模な国際スポーツ大会の開催を契機と して、児童生徒のスポーツに対する興味・関心 を高め、スポーツ活動の充実を図ります。



(3) 学びを支える魅力ある学校づくりの推進 children's learning

幼児教育の無償化等の社会変化を踏まえて発 達段階や教育的ニーズに応じた教育の充実を図 り、また、教職員が子供と向き合う時間を確保 するための取組を進めます。



主な取組

確かな学力の向上

○静岡式35人学級編制の充実 ○児童生徒の資質・能力を引き出す探究的な 学習の推進

学びを拡げるICT活用

○プログラミング教育の推進 ○各教科におけるICTの活用

しずおか型英語教育の充実 ○小学校英語中核教員育成のための研修

○県立高校のALT活用による「話す」「聞 く」力の強化

地域・社会を創造する実学の推進

- ○企業や大学と連携したキャリア教育の推進
-) 地域学の推進による郷土愛の醸成 ○地域と連携した専門教育の充実と魅力発信
- ○新しい専門学科等の設置検討

ラグビーW杯、東京オリ・パラ開催を契機としたスポーツの推進

○ラグビーについての学習・試合観戦の実施 ○パラスポーツ、デフスポーツ体験

部活動の効率的・効果的な実施

一部活動指導員等外部人材の活用 ○地域スポーツクラブの普及促進

学校における働き方改革

○教職員と子供が向き合う時間の拡充に向け たサポート体制の充実

○教職員の心身の健康管理の推進

幼児教育無償化への対応

○幼児教育関係者の連携促進、課題解決のた めの研究

特別支援教育の充実

○高等学校における巡回による通級指導の実施 ○交流籍を活用した交流及び共同学習

県立学校における施設等の改善

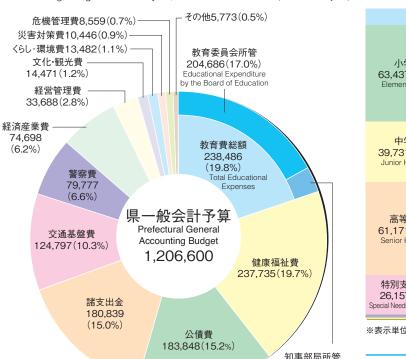
○特別支援学校における空調設備の整備

○県立学校老朽化対策

県一般会計予算と教育予算の内訳

平成31年度当初予算

As of the beginning of the fiscal year, 2019 (单位:百万円) (millions of yen) By Objective(millions of yen)

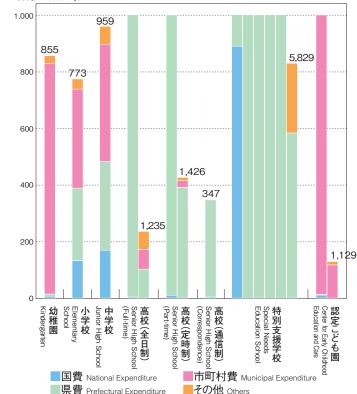


幼児・児童・生徒1人あたりの教育費(平成29会計年度)

※表示単位未満の端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合があります。

[公立分][地方教育費調査]

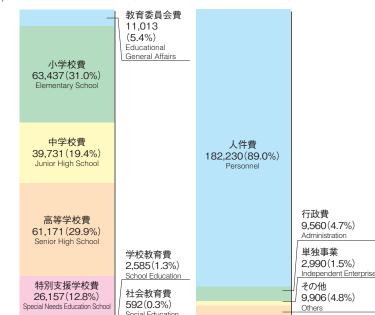
33.800(2.8%)



*本調査については、文部科学大臣の公表をもって「最終確定数」となる。

教育委員会所管教育費の内訳

目的別内訳(単位:百万円) 性質別内訳(単位:百万円) By Item(millions of yen)



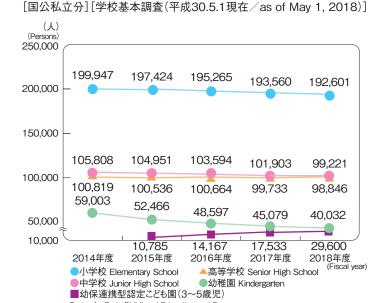
※表示単位未満の端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合があります。

県予算と教育予算の推移(当初予算)

					(億円)Hu	ndred million yen
	年 度 (Fiscal Year)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)
-	県予算 Prefectural Budget	12,397	12,410	12,058	11,872	12,066
•	教育予算 Educational Budget	3,009	3,058	2,436	2,421	2,385
	県予算に占める 教育予算の割合(%) Percentage of Educational Budget as part of Prefectural Budget	24.3%	24.6%	20.2%	20.4%	19.8%

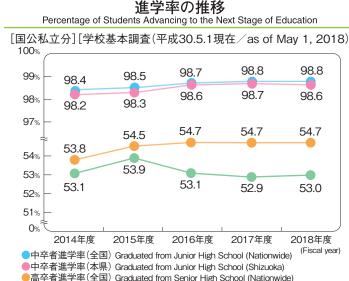
児童生徒数の推移

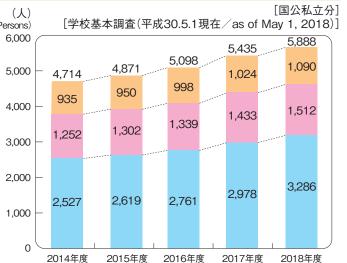
[国公私立分][学校基本調査(平成30.5.1現在/as of May 1, 2018)]



学校教育

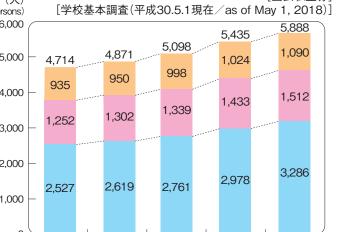
就職率の推移



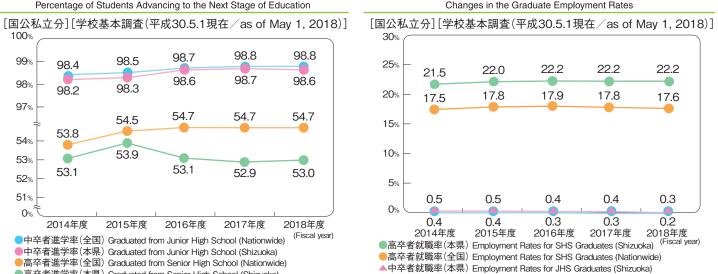


外国人児童生徒数

●高卒者進学率(本県) Graduated from Senior High School (Shizuoka)



■小学校 Elementary School ■中学校 Junior High School ■高等学校 Senior High School



高校生の海外への留学・研修の状況(公立高校:全日制、定時制)

●中卒者就職率(全国) Employment Bates for JHS Graduates (Nationwide)

平成29年度(the fiscal year 2017)

参加生徒数(率)

専修学校·公共職業

能力開発施設等入・

14人(2.1%)

家事手伝い・外国の

死亡·不詳

大学等入学·進路未定·

Domestic Help, Studving

Abroad, Undecided,

Death or unknown

15人(2.3%)

Entered Technical Colleges

or Public Vocational Schools

国·地域 Country•Region	長期留学 (3ヶ月以上)	グローバル人材 育成基金活用者	短期研修 (3ヶ月未満)	グローバル人材 育成基金活用者					
オーストラリア Australia	1人	0人	157人	17人					
アメリカ America	2人	1人	108人	20人					
イギリス Britain	0人	人0	78人	1人					
台湾 Taiwan	1人	0人	98人	18人					
ニュージーランド New Zealand	1人	人0	49人	3人					
韓国 South Korea	0人	人0	8人	2人					
シンガポール Singapore	1人	人0	18人	10人					
カナダ Canada	3人	0人	22人	2人					
その他 Other areas	7人	0人	102人	22人					
計 Total	16人	1人	640人	95人					
※数値については平成29年度に出国した延べ人数 The total number of the students who departed in the fiscal year 2017									

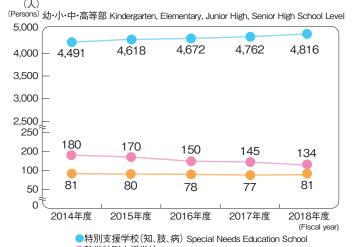
海外修学旅行 Overseas School Excursion 26校(27.4%) 4,607人(20.6% ※調査対象 95校 22,384人 (全学年対象)

特別支援学校

343人(96.9%)

高等部専攻科は除く。

◎児童生徒数の推移 Student Enrollment



●聴覚特別支援学校 Special Needs Education School for the deaf ●視覚特別支援学校 Special Needs Education School for the blind ※視覚、聴覚特別支援学校には、幼稚部が含まれている

◎卒業後の進路状況(平成30年3月卒) [国公私立分] [平成30.5.1現在/as of May 1, 2018] Paths Taken after Graduation [学校基本調査(平成30.5.1現在/as of May 1, 2018)] ●中学部(354人)

専修学校·公共職業能力 Entered

開発施設等入・進学者

1人(0.3%)

·通所者

5人(14%)

家事手伝い・外国の

Abroad or Undecided

大学等入学·進路未定

Entered Technical Colleges

社会福祉施設等入所

Entered Social Welfare

●高等部(657人) 大学等進学者 〈4人(0.6%)

270人(411%)

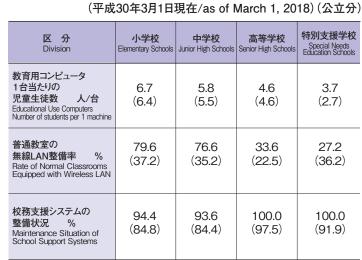
\所·通所者

ntered Social

354人(53.9%)

(注):高校、大学進学者及び専修学校等進学者には、就職して入学したものも含む。

Persons who entered high schools and colleges or special training schools include those who found full-time employment and, at the same time, enrolled in these schools, excluding those who are enrolled in special non-degree senior high school courses.



公立学校教員の男女別年齢構成

児童生徒の体力・運動能力(平成30年度)

小6(11歳)Elementary School, Grade 6 (Age 11) 中3(14歳)Junior High School, Grade 9 (Age 14) 高3(17歳)Senior High School, Grade 12(Age 17)

Long distance running 20m Shuttle Run

*平成29年度「体力・運動能力調査」の全国平均を50とした時の本県の指数 *The figures above are index numbers for Shizuoka Prefecture based on the 2017 national average of 50

高等学校(平均年齢45.6歳)

男性 平均年齢 女性 平均年齢

合計(total number of people)

3,247人 4,733人 1,486

390A 45~ 244A

322√ 40~ 221√

290) 35~ 168)

293, 30~ 140,

260x 25~ 156x

長座体前屈

Side Step

図書館(公立) Libraries

文化会館等 Public Halls

博物館相当施設 Museum-type Facilities

博物館類似施設 Other Exhibition Facilities

青少年教育施設 Educational Facilities for Youth

男女共同参画推進のための総合的な施設

博物館 Museums

立ち幅とび

Standing

50m Sprint \

県内社会教育施設設置状況

公民館·生涯学習施設 Community Centers · Lifelong Learning Centers 248

(平成30年5月1日現在/as of May 1, 2018)(国公私立分)

42.8歳

46.8歳

中学校(平均年齢42.7歳)

男性 平均年齢 女性 平均年齢

合計(total number of people)

2,326人 3,704人 1,378人

660人 55歳 207人

160人 45~ 177人

177人 40~ 139人

244_人 35~ 159

345_A 30~ 219

334_人 25~ 235

Standing

長座体前屈

Sit and Reach Flexibility Test

(学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果)

/ 反復構と71

ICT環境整備状況

20mシャトルラン Agility Test

20m Shuttle Run

Side Sten

40.9歳

43.7歳

※上段の数値は本県値、下段()の数値は全国平均値を示す

小学校(平均年齢42.9歳)

男性 平均年齢 女性 平均年齢

合計 (total number of people)

2,554人 6,179人 3,625人

696人 55歳 656人

250x 45~ 392x

198₄ 40~ 363₄

273_A 35_~ 440_A

76人 18~ 154人

ボール投げ **Ball Throw Test**

50m Sprint

立ち幅とび

*小学校、中学校については政令市の教員は含まれていない。

41.8歳

44.3歳

県内学校の概要

[平成30.5.1現在/as of May 1, 2018]

特別支援学校(平均年齢40.2歳)

男性 平均年齢 女性 平均年齢

合計(total number of people)

7<mark>87</mark>人 **2,221**人 1,4**3**4)

146人 55歳 142人

91人 50~ 172人

75. 45~ 185.

120 35~ 211)

21₁ 18~ 62₁

長座体前屈

Sit and Reac

| 反復横とひ Side Step

32

17

150

55

Long distance running 20m Shuttle Run

lexibility Tes

101人 25~

[本県児童・生徒の体格・体力の現状]の

400 0(人) 0 400 800 1200 300 200 100 0(人) 0 100 200 300

41.5歳

養護教諭、栄養教諭を含む

39.5歳

大学老粉

(学校基本調査 平成30.5.1現在/as of May 1, 2018) ※下記の数値は政令市を含む。

未怒約吕粉

学校種別		学校数 Number of Schools			学級数 Number		在学者数 ber of Stud		本務教員数 Number of Fu ll -time Teachers			
	School Type		本校 Main site	分校 Branch site	計 Total	of Classes	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
		国立 National	1	-	1	5	50	63	113	3	4	
	幼稚園	公立 Public	208	4	212	754	6,889	6,378	13,267	58	1,278	1,33
	ndergartens	私立 Private	180	-	180	1,224	13,500	13,152	26,652	131	1,857	1,98
			389	4	393	1,983	20,439	19,593	40,032	192	3,139	3,33
		公立 Public	75	-	75	337	3,930 2,919		7,359 5,455	51	932	98
Centers	携型認定こども園 for Early Childhood	私立 Private	144	1	145	750	11 574		22,241 16,462	161	3,141	3,30
Educ	ation and Care	計 Total	219	1	220	1087	15,504 11,430	14,096	29,600	212	4,073	4,28
		国立 National	2	-	2	30		510		29	16	4
	小学校	公立 Public	497	5	502	7,563			190,153			11,38
	entary Schools	私立 Private	4		4	66			1,437			10
		計 Total	503		508	7,659			192,601	4,750		
		国立 National	3		3	30	- í	576				
	中学校	公立 Public	262		263	3,372						6,48
	ァチル r High Schools	私立 Private	28		28	190			5,130			38
		計 Total	293		294	3,592	-			4,285		6,92
	Compuldory Education School	公立 Public	1	_	1	11	64					2
3000000	全日制 Full-time	県立 Prefectural	83	5	88	1,536					1,324	4,27
		市立 Municipal	5		5	109		2,536			115	
		私立 Private	43		43	1			31,902			1,90
		計 Total	131	5	136	1,645	16,571 49,242	15,331 46,667	95,909			6,47
	定時制 Part-time	県立 Prefectural	20									32
高等学校		市立 Municipal	1		20 1	159		1,152	1			32
High Schools		計 Total	21	-	21	163			12		94	33
		県立 Prefectural	1	-	1	103		1,159	2,910			
	通信制	私立 Private					595	690	1,285	19		
	Correspondence	計 Total	2		2		437	450	887			
	専攻科 Post-graduate Course	県立 Prefectural	1		1		1,032		2,172		25	7
	47X111 ost-graduate course	国立 National	1		1	9	27		27		13	2
4+ 0	□ 	県立 Prefectural	23			ļ	00		59	10		ļ - -
	引支援学校 eds Education Schools	私立 Private			37	1,274 9			4,939 33			2,75 1
		計 Total	25		39							
三	·校 Technical Colleges	国立 National				1,292			5,031	1,012		2,79 8
101441111		県立 Prefectural	1		1		932			71		
9	逗期大学	私立 Private					18					3
Jur	nior Co ll eges	Total	4		4		235					
		国立 National	5		5		253					12
		県立 Prefectural	2	·	2		7,920					1,02
	大学 Jniversities	県立 Prefectural 私立 Private	2		2		1,653					
	3.000	計 Total	8		8		11,501	8,506				71
			12		12		21,074					2,10
Ξ	事修学校	公立 Public	10		10		264		1			16
	al Training Schools	私立 Private	81		81		5,977			456		
クエンド		計 Total	91		91		6,241	7,809				1,02
合俚字校 \	Miscellaneous Schools	私立 Private	26	-	26		932	880	1,812	29	61	9

(注) 1 幼保連携型認定こども園の「在学者数」については、上段に全園児数を、下段に3~5歳児の人数(内数)を掲載している。

2 小・中学校の公立分には、一部事務組合分を含む。

課程併置校1校(県立1)、通信制課程校1校(私立1)である。 5 高等学校全日制私立校の学級数は、調査対象でない。

6 大学及び短期大学の「学校数」「本務教員数」は、本部(事務局)の所在地が県内にない学校は含まない。大学及び短期大学の「在学者数」については、在籍する学部・研究科 等、学科の所在地による。なお、「在学者数」には、学部学生、本科学生のほか、大学院・東攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含む。

7 専修学校とは、高等課程、専門課程、一般課程を設け、特に専門課程を置く学校は、専門学校と称することができ、看護・理容等の専門性や資格を得ることを目的とする学校である。

8 各種学校とは、各種学校規定に基づき、一年以上の修業期間を設けて、知識、技術、技能の向上を目的に設置される料理・珠算等の学校である。

9 「本務教員数」は、当該校に籍があり常時勤務する教員の数である。また、休職者、産休者及び育児休業者並びにその代替者も含まれる。

10_静岡県の教育2019.indd 4-7